

12月13日のウクライナ情報

安齋育郎

①【特集】嵌められた大統領～全ては2014年に始まった!!切取り厳禁⓪(ニキータ伝ロシアの手ほどき、2024年2月17日)

https://youtu.be/Kkjw_0QLpo



https://www.youtube.com/watch?v=Kkjw_0QLpo

②ロシアが勝つことは間違いない！プーチン(2024年12月10日)

プーチン:ロシアを征服し、破壊することに成功する者はいない！

祖国英雄の日に、ロシアのウラジーミル・プーチン大統領はロシアの英雄たちに金星勲章を授与した。

<https://youtu.be/MknTwTaJr4>



<https://www.youtube.com/watch?v=MknTwTaJr4>

③帝国主義者がジョージアで焦る！ | 分析ポッドキャスト(2024年12月11日)

ジョージアでの公共の不安を「親ロシア」政府に対する「自然発生的」な蜂起として描こうとする集団西側諸国の試みとは裏腹に、実際の政治状況はモスクワに接近することとは無関係です。与党のジョージアンドリーム(GD)政府はロシアと外交関係を持っておらず、ロシアの従属国になる意図も全くありません。しかし、NATOの対ロシア代理戦争の第二戦線になることも望んでいません。そしてそれは集団西側諸国が容認できないことです。そのため、EUの議員が街頭抗議を支持し、ワシントンが選出

されたジョージアの政治家に制裁を課すという、全面的な政権交代作戦が進行中です。狂った時代です。

<https://youtu.be/u-SpZgIe6N4>



<https://www.youtube.com/watch?v=u-SpZgIe6N4>

④ロバート・ケネディ・ジュニア語る(2024年12月11日)

<https://x.com/i/status/1866659929211469876>



<https://x.com/Tamama0306/status/1866659929211469876?s=09>

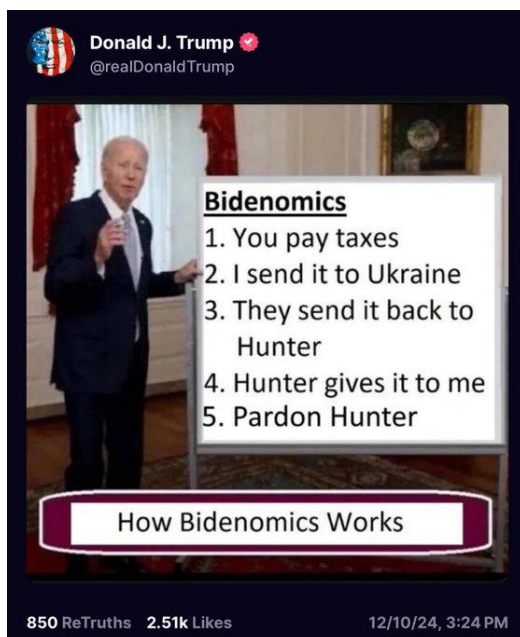
⑤【ウクライナを利用したバイデノミクスとは何だったのか】(2024年12月2日)

トランプ次期大統領は SNS への投稿で、ウクライナによるマネーロンダリング(資金洗浄)を利用したバイデノミクスの構造を分かりやすく解説した。

1. みんなが税金を払う
2. バイデンは税金をウクライナに渡す
3. ウクライナはそれを息子のハンター被告に振り込む
4. 被告は父親に還付する
5. バイデンは被告を恩赦する

先に父親によって恩赦されたハンター氏はウクライナとの繋がりが指摘されている。バイデン氏が副大統領だったオバマ政権時代、ハンター氏はウクライナのエネルギー企業ブリスマで顧問に就任していた。報道によると、ハンター氏はウクライナ側のロビー活動による窓口となり、高額な報酬を受け取っていたとのこと。

トランプ次期大統領はウクライナのロビー活動を問題視しており、親ウクライナの政治家、ポンペオ元国務長官などを政権から遠ざけた。



https://x.com/sputnik_jp/status/1866665785323819324?s=09

⑥部屋着のバカ(風刺画、2024年12月10日)

シャルリー・エブド紙:

「せむしのないノートルダム寺院のオープニング」とは何ですか？」



<https://x.com/shift47ym/status/1866420220212154471?s=09>

⑦【時事ネタ】パリにトランプ氏！ 12/11 水曜版です🤖!!(ニキータ伝～ロシアの手ほどき、2024年12月11日)

<https://youtu.be/yqkomWlpuVk>



<https://www.youtube.com/watch?v=yqkomWlpuVk>

⑧【ドイツ軍のレイプ魔、ウクライナで英雄に】(2024年12月11日)

ウクライナ側で戦うドイツ連邦軍の兵士が SNS で話題をさらった。ドイツでこの兵士は「ロシア軍と戦った」ことから、英雄視されているものの、性犯罪歴が報じられた。

独紙デア・シュピーゲルによると、ドイツ検察は数人の女性に性的暴行を加えた疑いでこの英雄を告発した。さらにこの英雄はウクライナでも性犯罪を犯し、その動画をネット上に投稿したほか、児童虐待や児童ポルノの写真や動画を拡散したとのこと。

ウクライナ側は容疑者の身柄引き渡しに応じていない。



https://x.com/sputnik_jp/status/1866647165478789617?s=09

⑨ダグ・マクレガー大佐 - 西側諸国の指導者にようやく現実が伝わる:ウクライナは戦争に負けた(2024年12月11日)

<https://youtu.be/l2awTg0TYzA>



<https://youtu.be/l2awTg0TYzA>

⑩IAEA の車両攻撃を断固非難＝露外務省(2024年12月11日)

ロシア外務省は11日、ザポロジエ原発に向かっていった国際原子力機関(IAEA)の車両がドローン攻撃を受けた問題で、攻撃はウクライナ軍が行ったとして非難する声明を発表した。

声明によると現地時間10日午後3時ごろ、IAEA職員をザポロジエ原発に移送するため走行していた自動車が、ウクライナ軍占領下の地域でドローン攻撃を受けた。けが人はなかった。

午後4時37分ごろには、IAEA職員を前線近くのカメンスコエ村まで届け、帰る途中だったロシアの車列も攻撃された。

露外務省は「ウクライナが主導して招集された12日のIAEA臨時総会を前にした明らかな挑発行為だ」と指摘。また、米国や英国、その同盟国に対し「ゼレンスキー政権の支援をやめ、こうした挑発行為の責任を問うべきだ」と呼びかけた。



<https://sputniknews.jp/20241211/iaea-19408213.html>